

Chapter 4

九州の産業構造と主要産業

多様な産業集積

九州には多様な産業が集積しています。

九州の主要産業の立地をみると、北部九州の「苅田・行橋・椎田～中津地区」や「飯塚・田川地区」、「熊本北部・中央地区」をはじめとして、自動車関連産業が集積しています。「小倉・八幡地区」の鉄鋼業や、「伊万里・松浦地区」・「大分、別府～国東地区」の造船も、九州の製造業を支える重要な産業といえます。また、「熊本北部・中央地区」や「隼人・国分地区」のほか九州全域で、半導体関連産業が集積しています。九州の半導体産業の技術力は高く、九州で作られた半導体のなかには、スマートフォンなど最先端の機器に搭載されているものもあります。

九州は第一次産業の比率の高さを生かした食品製造業も盛んであり、わが国の食糧供給基地として位置づけられています。「熊本北部・中央地区」や「薩摩地区」では、農産物、畜産物を使った食品製造業のほか、焼酎の製造も盛んです。

その他、成長分野でも集積が進んでいます。「小倉・八幡地区」や「大牟田地区」、「水俣周辺地区」ではエコタウンが整備され、環境関連産業が集積しています。「鳥栖・久留米～日田地区」では、バイオテクノロジーを核とした新産業・バイオベンチャーの創出や関連企業、研究機関の集積を目的とする「福岡バイオバレープロジェクト」の拠点となっており、バイオ関連企業の立地が盛んです。さらに、東九州に位置する「大分、別府～国東地区」や「延岡・日向地区」、「宮崎・佐土原～都城・高原地区」周辺は、医療関連産業が集積し、東九州メディカルバレーと呼ばれています。

九州の産業集積状況

